



学校だより 小雀

令和2年10月21日発行
11月号
横浜市立小雀小学校

ホームページ: <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kosuzume/>

世代を超えて学ぼう 漢字検定

校長 今野 敏晴

11月10日(火)に本年度2回目となる「チュンチュン漢字チャレンジテスト」を全校で行います。漢字学習によって「主体的な学び」を目指す取組で、年4回実施しています。やり方はまず、本番10日前の金曜日に今まで習った漢字の中から50問を学年ごとに選び、子どもたちに宿題として出します。その後の1週間で、クラスごとにプレテストを実施します。子どもたちは、宿題やプレテストで分からなかったところを練習して本番に臨みます。分からないところを理解するために自分でアクションを起こします。漢字といえども覚え方は人それぞれです。5回書いて覚える子もいれば、10回、20回と書いて覚える子もいます。お家の方の力を借りて問題を出してもらったり、辞書や漢字ドリルで確認したり、子どもによっては、じっと見て覚える子もいます。自分に合う効果的な学習方法を見つけることが大切です。プレテストをもとに再チャレンジをすることで成功体験が積み重なり、学習が自律的になることを期待しています。このやり方によりほとんどの子が高得点をとることができようになりました。漢字学習が自信となり、「主体的な学び」を様々な教科に広げ多くのことにチャレンジしてほしいと思っています。がんばった分だけ成果が出やすい漢字学習はそのきっかけづくりです。

本校独自の「チュンチュン漢字チャレンジテスト」に加え、今年度は、「ハピボラ(地域学校協働本部)」の協力により、全国的な指標のもと自分の能力を測定できる日本漢字能力検定を受検できるようにしました。

1月30日(土)午前9時30分より、本校にて「ハピボラ(地域協働本部)」主催の初めての「漢字検定試験(漢検)」を行う予定です。漢字検定とは、日本漢字能力検定協会が実施する漢字能力に関する検定です。希望調査を取り、本校児童及び保護者、教職員、地域の方が希望する級に挑戦できるように計画しています。学校行事ではありませんが、学校を学びの場として、漢字検定会場を地域に提供する初めての試みとなります。この取組にご理解いただき、「合格に向けてがんばるぞ。」とお声がけいただければ幸いです。

本校では、放課後や週末に校庭や体育館を利用した文化スポーツクラブの活動が盛んです。学校施設を社会教育・スポーツ教育の拠点として活用していく取組ですが、学校内だけでなく、地域や家庭の主体的な学びを促すことにもつながり、学びを深めるという点からも重要です。本来学校とは学ぶ場です。生涯学習として子どもも大人も学び、みんなで成長を実感していくことが子どもたちにとっても良い環境となります。この機会を通して、子どもと共に大人も学ぶことにチャレンジしてみたいかがでしょう。漢検には、家族受験表彰制度があり、個別の合格証書に加えて「家族合格表彰状」が贈呈されます。同居の家族はもちろんのこと、祖父母や遠くに住んでいる家族にもこの制度の利用が可能です。家族の話題が広がり、子どもと共に一緒に学ぶことでお互いに励まし合ったり、合格した時の喜びを共有したりできることと思います。子どもにも大人にも学ぶ場を提供したいと考え、「ハピボラ」にご協力をいただいた次第です。

この学校だよりを読まれた地域の方で、「漢字検定を受けてみたい」と思われた方は、学校までご連絡ください。資料をお渡しいたします。保護者の方は、子どもが持ち帰る資料をご覧ください。多くの方のご参加をお待ちしています。 【 問い合わせ 小雀小副校長 電話 851-2030 】